ICHIKASHI PRIDE

柏市立柏高等学校
校長通信
第２号
令和４年７月19日

第１学期の終業式を迎えました。皆さんご機嫌いかがですか？この１学期は、あなたにとってどのような４ヶ月だったでしょうか。４月当初に自分が立てた目標やその計画が達成（実行）できましたか？今一度、自分の手帳を開いてみてください。そこには自らが掲げた『今年度の目標』が書いてあるはずです。この１学期に「できたこと」「できなかったこと」を振り返っておきましょう。「できなかったこと」については、この夏休みと２学期でどのように挽回していくのか、計画を練り直してください。

ところで、２，３年生の皆さんは昨年度の校長通信最終号で紹介した、この言葉を覚えていますか？

『挑戦しないことはリスクである。なぜなら、挑戦しないことは成長のチャンスを捨てることになるからだ。』

『挑戦』というと、少し大げさに感じる人もいるかもしれません。また、『挑戦』しても、その先の失敗や挫折を思い浮かべてしまい、「だったら、やめておこう。」と考えてしまう人もいるかもしれません。しかし、若い皆さんにとって『挑戦』しないことは実にもったいないことです。

私が皆さんに『挑戦』してもらいたいことは、それほど大げさなことではありません。

ひとつは、『自分の長所（強み）をさらに伸ばす努力をする』ことです。自分の得意なことをどんどん伸ばすことです。そのためには、まず、自分を知り、自分を受け入れ、自分を認め、自分を好きになることです。部活動を頑張っている皆さんは、『自分の強みを伸ばす』ことは普段から取り組んでいるので、得意かもしれません。それを部活動以外のことにも広げてみてください。

もうひとつは、『今までにやったことのないことに取り組んでみる』ことです。これは、積極的に新しいことに挑戦する、という本来の意味で取り組んでもらえることが望ましいのは言うまでもありませんが、『今まで、「こんなことできない」「面白くない」「自分に合わない、必要ない」「どうせうまくいかない」などと言い訳をして、取り組むことから逃げていたことに取り組んでみる』という意味も含まれています。

『挑戦しないことは成長のチャンスを捨てることになる』の『成長』とは「成功（目標達成）」ではありません。『挑戦』した結果、仮にうまくいかなかったとしても、『成長』はあるのです。『挑戦』のために努力すること自体があなたの『成長』であり、所々うまくいかないことで悩んだり、苦しんだりしながらも前に進もうとすることがあなたの『成長』に繋がるのです。そしてこのような『挑戦』をすることで、自分自身を客観的に見ることができ、今まで気づかなかった自分を発見することもできるのです。この発見こそ、まさに『成長』ではないでしょうか。

これまで、何かを言い訳にして『挑戦』することから逃げていたことに、取り組んでみる夏休みにしてもらいたいと思います。結果は考えなくていい。まず、やり始めること。「やってみよう！」と思うことが、『成長』の始まりです。

Keep studying, practice hard, polish your skills, and NEVER give up on your dreams!